



▶鷹巣愛好会の津谷主将から花束を受け取る河西さん
◀中学生にレシーブの技術を教える佐伯さん



▶レシーブの技術を教える杉山さんと高橋さん



▲スパイクの技術を教える白井さん



▲トスの技術を教える江上さん



▲スパイクの技術を教える白井さん



▲コートチェンジ後に談笑するドリームチーム



▲熱戦が展開された鷹巣愛好会VSドリームチーム



ドリームチームの皆さんと鷹巣愛好会の皆さん

宝くじスポーツフェア はつらつママさんバレーボール

宝くじスポーツフェア「はつらつママさんバレーボール」in KITA AKITAが11月19日、鷹巣体育館で行われ、バレーボール教室やママさんバレーボールチームとの親善試合などで交流を図りました。

このスポーツフェアは日本バレーボール協会が推薦するオリンピックメダリスト、全日本経験者等による選手と親善試合やバレー指導者クリニック、バレーボール教室等を開催し、健全な家庭と長寿社会に対応した明るいまちづくりに資することにもこれらの事業を通じて宝くじの普及広報を行うことを目的に開催されているものです。バレーボールのほかドリームベースボール（日本プロ野球名球会と日本プロ野球OBクラブ）があり、昨年の5月に大仙市で行われています。



の白井貴子さんや秋田わか杉国体に出場する本県出身の熊沢美穂さん（日立佐和・リヴァーレ）角館南高出、伊藤智美さん同聖霊高出）ら13人が出場し約700人の観客から大きな拍手で迎えられました。

午前中は、中学生やママさんバレーボールチームを対象としたバレーボール教室が開かれ、

▲森田さんにブロックの指導を受ける選手ら（ボールを持っているのがセッターランドさん、右隣が江上さん）

愛好会の出川則子監督は「貴重な体験となった。できれば勝ちたかった」、津谷美由紀主将は「とても思い出になった。教わったことを今後に活かしたい」と感想を述べてくれました。

午後からは、鷹巣愛好会、田代クラブ、秋田クラブIIと9人制でドリームチームとの親善試合が行われ、鷹巣愛好会は、第1セット15-6、第2セット15-9と負けはしたものの名選手たちとの交流に目を輝かせていました。

白井さん、江上さんらは、中学生やママさんらの手をとってトスやレシーブの基本技術を教えていました。